

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

リョービミツギ株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市御調町高尾200番地

(3) 業種

2353 アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成15（2003）年度を基準とする令和7（2025）年度から令和12（2029）年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

リョービのグループ会社であるリョービミツギは、以下の「リョービグループ環境方針」の下に活動しています。

「リョービグループ環境方針」

リョービグループは、経営環境を取り巻く様々なリスクの回避・低減を図るとともに、事業活動から生じる環境負荷を低減するための取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 経営環境の変化に伴うリスクを特定し対応を図ります。
2. 製品・商品のライフサイクルの各段階における環境負荷の低減と環境汚染の予防に取り組みます。
 - a. CO2排出量削減
 - b. 省エネルギー・省資源
 - c. 産業廃棄物の削減・再資源化
 - d. 環境汚染の防止
 - e. 調達品の環境負荷低減
 - f. 低環境負荷製品・サービスの提案・拡販
3. 環境に関する法令・条例・協定および利害関係者からの要求事項を遵守します。
4. 全構成員に対し、環境に関する教育や啓蒙活動を通じて、環境改善に取り組む意識の向上を図ります。
5. 環境保全活動を通じて、生物多様性の保全と地域社会に貢献します。
6. 上記を達成するために、環境目標を設定し、施策を実行します。また、その結果に基づく見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
7. この環境方針は、全構成員に周知させるとともに、社外にも公開します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成15（2003）年度	令和6（2024）年度
二酸化炭素	12,047	7,080

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量				0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

t

い)、削減率（%）

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量(kg等)、削減率（%）

温室効果ガスの種類 温室効果ガスの種類	基準年度基準年度 (平成15(2003)年度)(平成15(2003)年度)			削減目標原 単位 削減率 (d)	目標年度目標年度 (令和12(2029)年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 数値 (c)		排出量 見込 (e)	原単位 見込 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	12,047	5,770	2.1	49.8	6,000	5,700	1.1
非エネルギー起源CO ₂				0.0			
メタン				0.0			
一酸化二窒素				0.0			
その他 温室効果ガス				0.0			
総排出量				0.0			
(原油換算kl) エネルギー 消費原単位	—	—		0.0	—	—	
目標設定の考え方 目標設定 の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	○電気の原単位を 5 0 %削減	○冷暖房温度の適正管理 ○休憩時間の消灯の徹底 ○コンプレッサー電力節減 ○パソコン電力節減 離席時ディスプレイ電源OFF 省エネルギー中長期計画の実施 ○電動成形機導入 ○油圧成形機廃棄 その他 CO ₂ 排出削減及び、省エネ関連資料配付・ 掲示による、社員の意識向上を図る。
2			
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

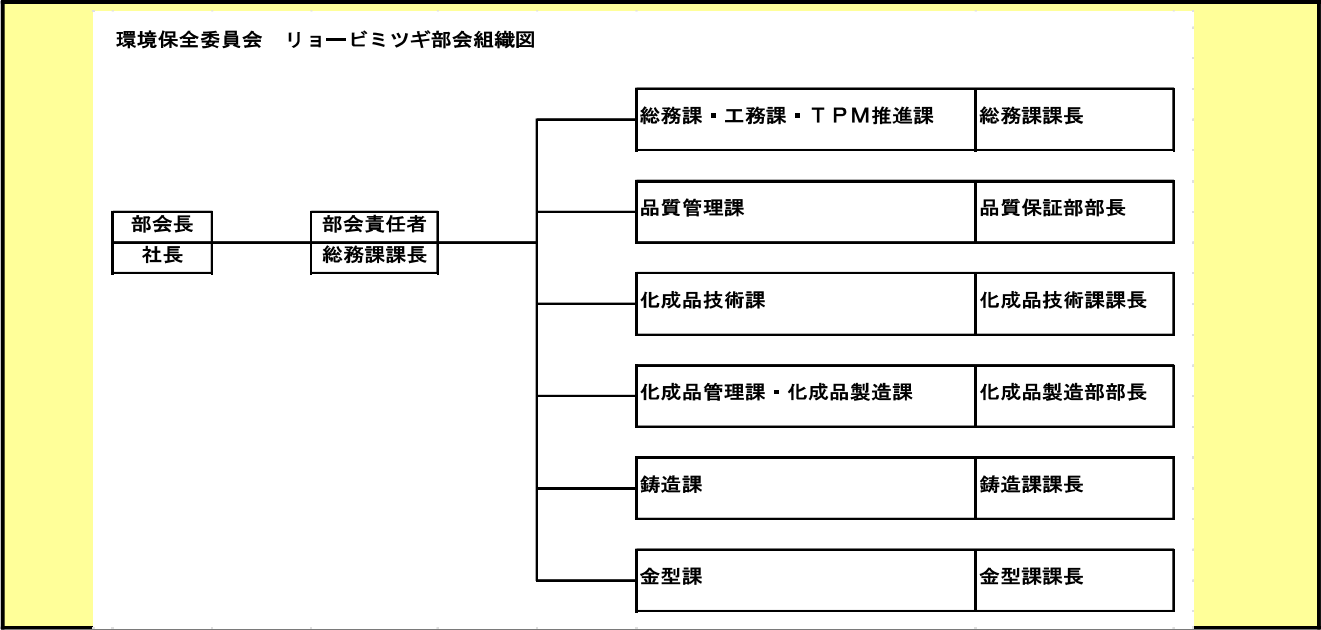
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物の削減	リサイクル率を 9 5 %以上	○分別収集及び資源化の徹底
2	リサイクル率の向上	リサイクル率を 9 5 %以上	○廃棄物のリサイクル材料化実施
3	その他		○年 2 回会社周辺クリーン作戦実施 ○毎月アルミ缶回収実施

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

リョービ環境保全委員会の中のリョービミツギ部会として、ISO14001環境マネジメントシステムの活動の中で、省エネルギーの項目としてCO2削減を含めた目標を計画し、実施状況の把握・問題点の検討を行い、定期的に評価・見直し継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

リョービ環境保全委員会として、毎年、環境報告書作成し掲載している。